SUBARU®

E-KY3

SUBARU VIVIO

新型車解説書・整備解説書

VIVIO T top

'93. 5

U5251A

SUBARU
VIVIO Type

まえがき

本書は，Type VIVIO（93年5月発売）に際して，ヴィヴィオのベース車との相違点の概要，仕様，構造，作動，整備要領などの技術的内容を主体に解説してあります。下記資料と併せて，本書をご熟読の上，サービス並びに販売活動にご活用くださるようお願い致します。

VIVIO 新型車解説書		'92.3	U5241A
VIVIO 整備解説書	上巻	'92.3	G5241A
VIVIO 整備解説書	中巻	'92.3	G5242A
VIVIO 整備解説書	下巻	'92.3	G5243A
VIVIO 電気配線図集		92.3	X5241A

なお，本書の内容は1993年5月発売の車両を基に作成してあります。車両の仕様変更等により今後の車両と内容が一致しないことがありますので，あらかじめご承知おきください。今後，仕様変更などがあった場合にはテクニカルインフォメーションその他でご連絡いたします。

1993年5月

富士重工業株式会社

目　次

総　説		1
エンジン		2
動力伝達システム		3
シャシ		4
ボディ		5
空調システム		6
エレクトリカル		7
巻末資料	外観四面図，性能曲線図，主要諸元表，明細諸元表，装備仕様一覧表，内外装色展開表，点検整備方式	8

注：エンジン，動力伝達システム，空調システムの編については今回変更ありません。

受付
5.6.25
同和火災損調

総　　説

1－1　車両外観 …… 2

1－2　車両型式一覧

■車両型式・エンジン・
トランスミッション一覧表 …… 3

■車両型式記号の説明 …… 3

1－3　車両概要

〔1〕 開発のねらい …… 4

〔2〕 エクステリアデザイン

■概要

(1) 3分割脱着式ルーフ …… 7

(2) 電動回転格納式リヤウインドゥ …… 9

(3) サッシュレスドア …… 11

〔3〕 インテリアデザイン

(1) シートバリエーション …… 12

(2) インストルメントパネル …… 13

1

■ 主要変更内容

1）スバルE－KK3型をベースに，主に車体後部の形状及び構造を変更する。

- ドアをサッシュレス化する。
- ルーフを3分割の脱着式とする。
- リヤウインドゥを電動回転格納式とする。
- トランクルームを設ける。
- 車体に補強を行う。
- 後席は，V－KW系と同じ前後位置として幅を縮小する。
- 車体姿勢を10mm低くする。

2）安全対策強化

後席3点式座席ベルト，サイドドアビーム，ハイマウントストップランプ等，8項目を織り込み安全性の向上をはかる。

- 後席三点式座席ベルト
- ハイマウントストップランプ(車体埋込み型)
- 二重アクセルリターンスプリング
- 燃料噴出防止装置
- ロールオーババルブ
- サイドドアビーム
- シートベルト未装着警報装置
- 室内難燃化性材料

1－1　車　両　外　観

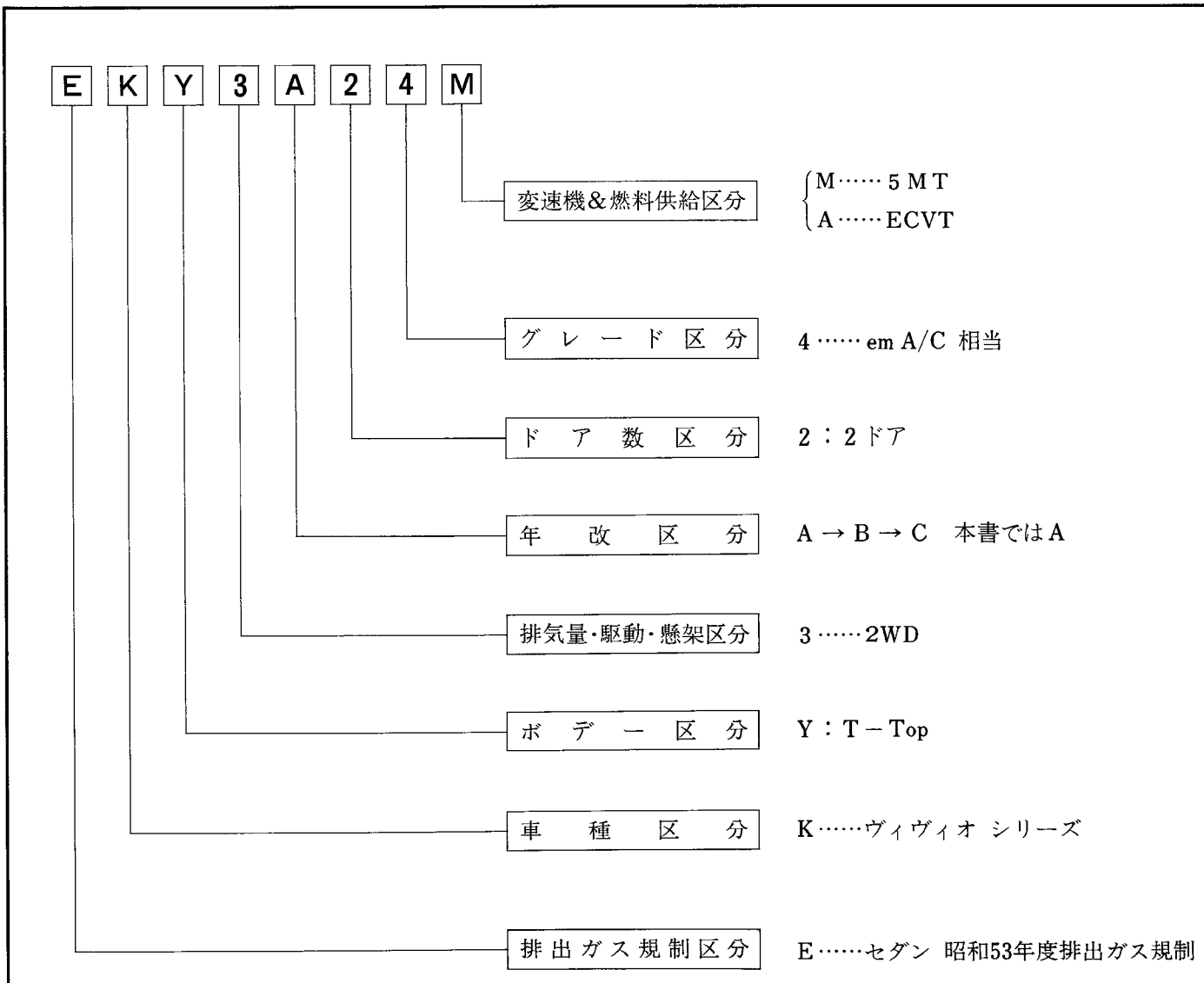
〈ヴィヴィオ　T－Top　2ドア　セダン　NA－ECVT車〉

1－2　車両型式一覧

■ 車両型式・エンジン・トランスミッション型式一覧表

ボデー	車両型式	エンジン		駆動方式	トランスミッション	グレード	類別区分番号	車両型式記号	エンジン型式	ミッション型式	車種名称
セダン 2ドア	スバル E-KY3	SOHC	NA EMPi	2WD	5MT	(eM相当) —	010	KY3A24M	EN07EDM2AC	TM57OAA1AA	ヴィヴィオ T-Top 2ドア セダン 5MT
					ECVT	(eM相当) —	020	KY3A24A	EN07EDC2AC	TB40ORH1AC	ヴィヴィオ T-Top 2ドア セダン ECVT

■ 車両型式記号の説明



1－3　車　両　概　要

〔1〕 開発のねらい

＜基本コンセプト＞

軽乗用車をとり巻くユーザーの意識や価値観，マーケットの変化に対応することを目的に，ＶＩＶＩＯシリーズの本格派生車として，他にない特長を持った初めての３ＢＯＸ車を開発しました。

その狙いは，

1. スバルチーム内外が“インプレッサ”をラインアップに加えて小型車（登録車）の拡販にシフトしている時期に“話題性，集客性の高い商品”をＶＩＶＩＯシリーズに追加することにより軽乗用市場に刺激を与えスバル販売店の店頭活性化を狙った。
   特に，店頭への集客力が販売に直接影響を与える昨今では“集客のための話題作り”は重要な役目と考えられる。

2. 他社の第２車形展開への対抗の意味を含めて，従来のどのジャンルにも当てはまらない全く新しいコンセプトと商品特長を備えた『**新しいタウンカー**』としての提案を行い，低迷傾向にある市場に刺激を与える。

3. 他社の第２車形のほとんどが男性をターゲットとしているのに対し，このクルマは軽乗用市場の中心需要層である若年女性ユーザーをターゲットとしている。
   特に現ＶＩＶＩＯではカバーしきれない新しい個性的なユーザー層を狙いとしている。

＜商品コンセプト＞

このクルマの開発においてもＶＩＶＩＯが持つ高いポテンシャルを損なうこと無く，更に派生車ならではの“楽しさ”“ユニークさ”を３ＢＯＸのクーペスタイルを採用することにより具現化しました。

特に，このクーペでは“楽しさ”をオープンエアによって味付けしている。

“太陽を浴びて走る快感”

“風を切って走る爽快感”

は誰でも一度は体験したいドライブフィーリングであり，それを日常生活の中で手軽に楽しめることを可能にしている。

また毎日の生活の中でクルマを機能優先だけでなく“遊び心”を失わない真に実用的で，しかも楽しいものにしたいという発想が基本になっている。

“コンセプト”は

毎日の生活を
より楽しくしてくれる
“パーソナルクーペ”

〈商品特徴〉

(1) 他社に無い3 BOX セダンライクなスタイリングと，気軽にオープン感覚が楽しめる“デタッチャブルトップ”を両立させた個性的なパーソナルクーペ。

(2) 電動回転格納式のリヤウインドゥと脱着式ルーフを備えて，使う時の気分や走るシーンに合わせて3ウエイの選択が出来る，ユニークな構造。

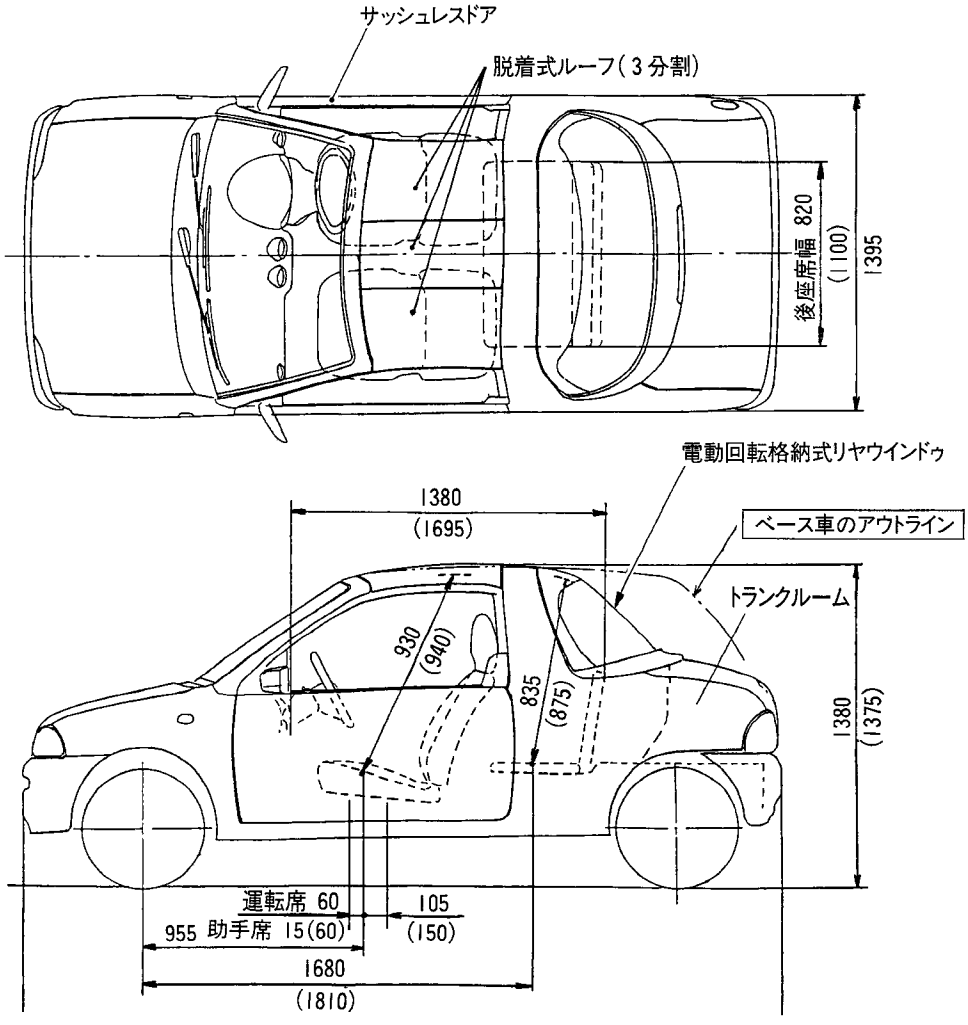
(3) スタイリッシュなロールバーは転倒，衝突に対しての高い安全性を持つ。
(ロールバーによる安全性と同時に得られる安心感。)

(4) 前席に加え，2人分の後席の確保とこのクラス最大の独立したトランクルームによる“新しいプライベートユーティリティ”。

(5) 自然で快適なドライビング・ポジションと特に女性ユーザーに便利なパワーステアリングを標準装備。

(　) レイアウト……ベース車(E－KK3型3ドア)との主要相違点を示す。

(　)内はベース車の寸法を示す。



〈ネーミング〉

① このクルマがＶＩＶＩＯの派生車である。

② フロントスタイリングをＶＩＶＩＯと共用しており，デザイン的な差別化をしていない。

③ 発売の狙いとして，話題性の高い商品による店頭活性化を図り，ＶＩＶＩＯシリーズ全体のイメージアップ及び拡販のバックアップをする。

④ タルガトップというスタイリング及び機能が感じられるネーミングである。

⑤ ＶＩＶＩＯに付けてグレード呼称の様に覚え易く，軽快感のあるネーミングである。

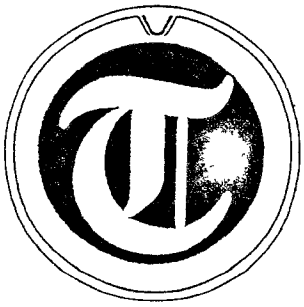
VIVIO T-top

ヴィヴィオ　ティートップ

意味：“Ｔ－Top”の“Ｔ”は Touring（ツーリング）の“Ｔ”および
Taruga（タルガ）の“Ｔ”を意味する。

〈オーナメント〉

フロントはベース車と同様のＶＩＶＩＯマークとし，この外にこのクルマ専用の楽しさをかもし出す様な車名表示をドアタワー部及びリヤフード部に取り付け。



タワー部

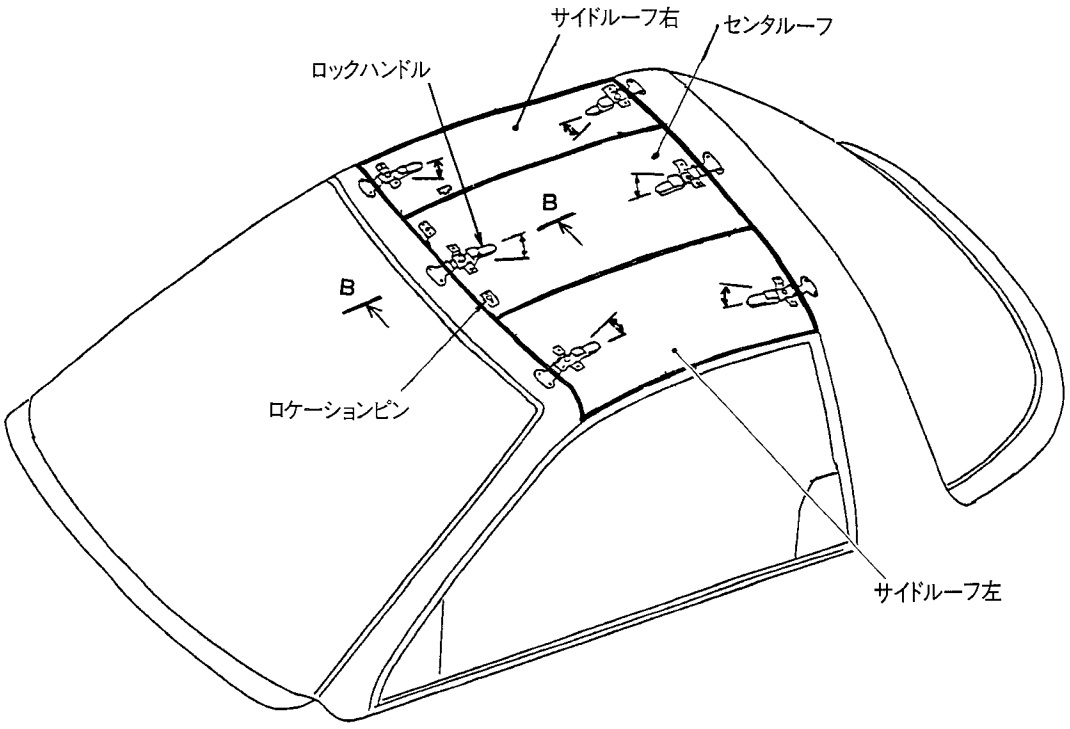
リヤフード部

〔2〕 エクステリアデザイン　■ 概要　(1) 3分割脱着式ルーフ

〈構　造〉

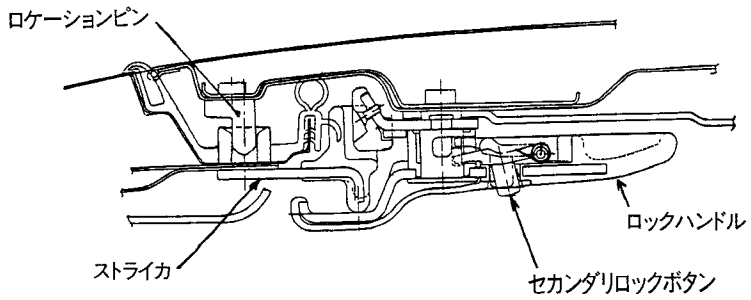
このクルマの最大の特徴であるルーフ機構は女性ユーザーを考慮した新しいタイプのルーフ開閉システムを採用しました。

- 脱着式ルーフは軽量化のためにアルミ製の3分割とし女性ひとりでも簡単に脱着できるようにしている。
（センター 2.9kg,　サイド 3.3kg）
なお，外したルーフは専用ケースに入れた後，トランク内にサイドルーフ，センタールーフの順に重ねてバンドで固定して収納します。（この状態でもトランク内には若干のラゲッジスペースが確保できます。）



〈脱着操作〉

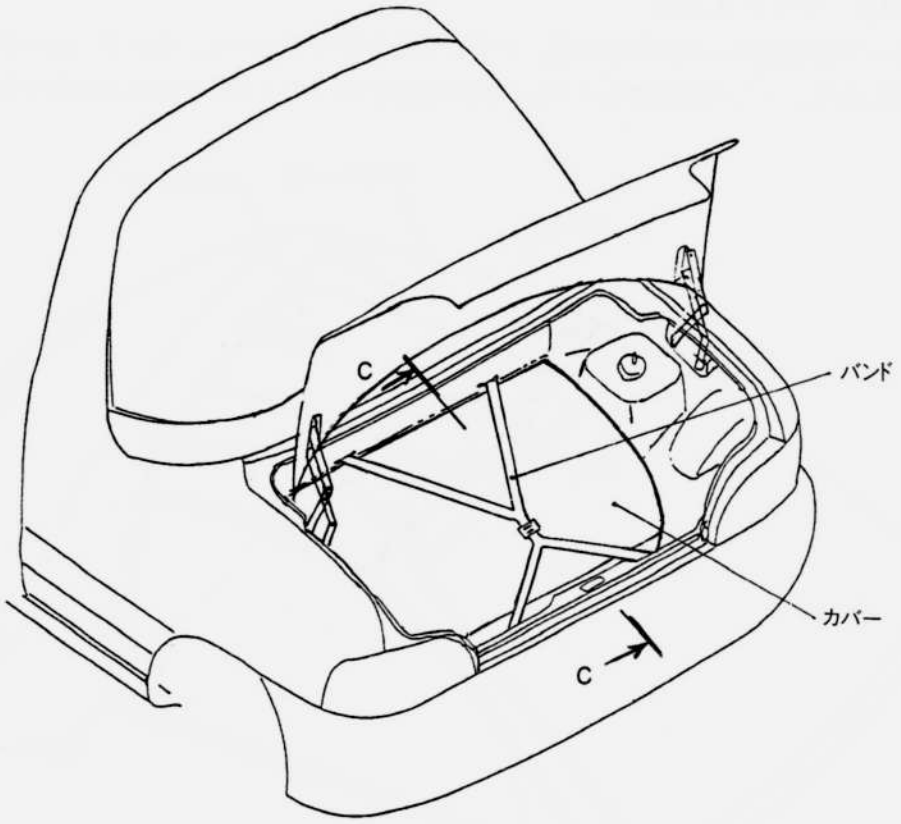
ルーフの取り外しは，ロックハンドルの回転防止用セカンダリロックボタンを押して，ハンドルロックを解除します。次にハンドルを回転させ，サイドルーフ，センタルーフの順に行う。また，取り付けはロケーションピンに合わせて，ルーフを置き室内側からハンドルを回転してロックします。

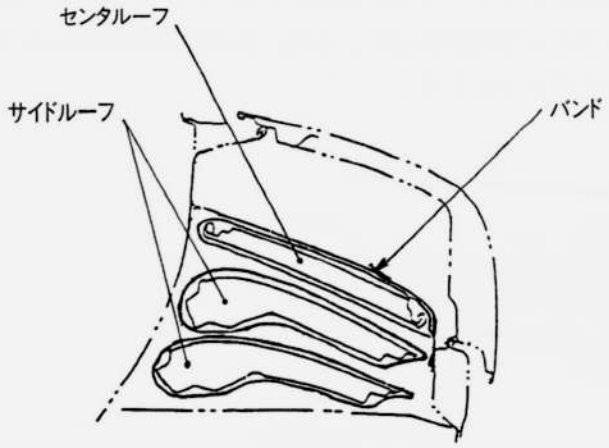


B 断 面

〈格納方法〉

ルーフは，レザー製の袋に入れてからトランク内にサイドルーフ，センタルーフの順に重ねてバンドで固定する。





C 断 面

(2) 電動回転格納式リヤウインドゥ

リヤウインドゥは開閉動作を電動化し開閉時のわずらわしい手間を省くと共にドライバーが運転席のスイッチ操作1つで簡単に開閉できるようにしました。

なお，リヤウインドゥ作動中の安全対策として警報ブザーを取り付けて，作動時およびリヤウインドゥ半開状態時の注意を促します。（全開および全閉時以外に警報ブザーが鳴る。）

1. リヤウインドゥ開閉操作機能

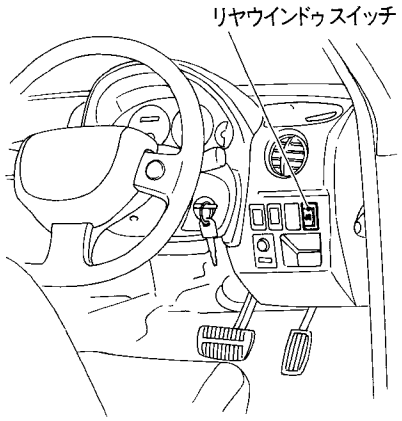
(1) リヤウインドゥの作動中は，ブザーで後席乗員に警報する。
（ブザー位置は後席乗員の近くに設置する。）

(2) スイッチを押している時のみリヤウインドゥは作動する。

(3) 閉方向作動時，全閉手前約250㎜の位置で自動的に一担停止する。

〈注記〉

突然の降雨等を考慮し，走行中でも開閉操作は可能としたが，通常リヤウインドゥの開閉は車両停止時に行う。



2. リヤウインドゥ開閉操作手順

(1) 全　閉 ➔ 全開操作時

(a) 運転者席側，計器盤右下スイッチ(シーソ式)の“ＯＰＥＮ”側を押す。

(b) スイッチを押し続ける間，リヤウインドゥは開方向に作動する。（スイッチから指を離すと停止する。）

(c) リヤウインドゥが全開位置に達すると自動的にリヤウインドゥは止まる。

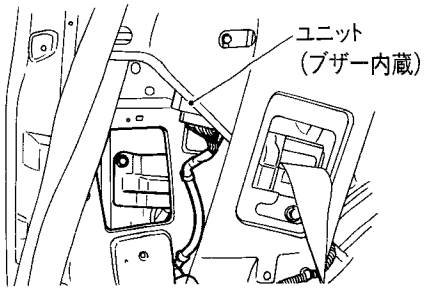
(2) 全　開 ➔ 全閉操作時

(a) 運転者席側，計器盤右下スイッチ(シーソ式）の“CLOSE”側を押す。

(b) スイッチを押し続ける間，リヤウインドゥは閉方向へ作動する。(スイッチから指を離すと停止する。)

(c) 全閉手前約250㎜の位置で自動的に一担停止する。

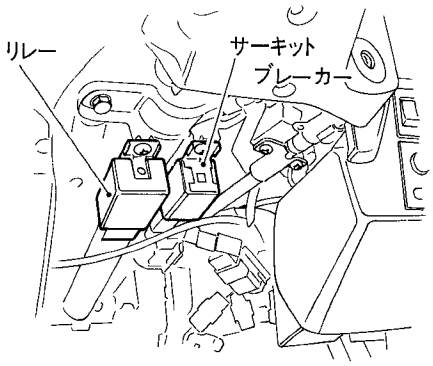
(d) 再度スイッチを押すと全閉し，自動的にリヤウインドゥは止まる。



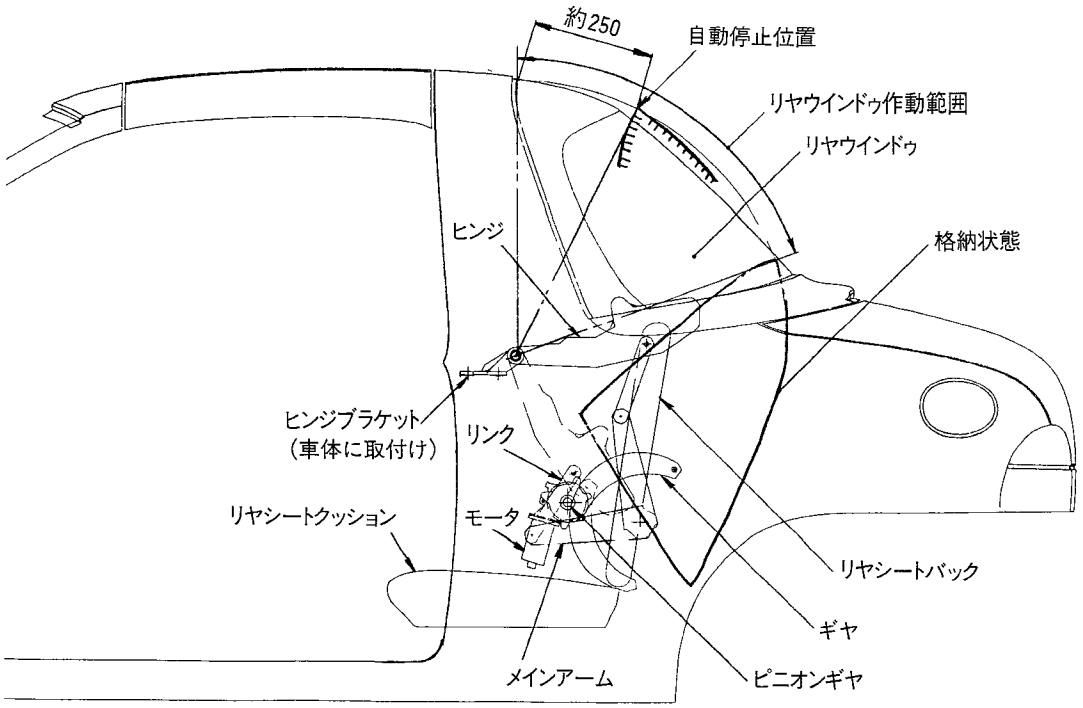
3. リヤウインドゥの作動所要時間

全閉から全開	全開から全閉		
	全閉手前250㎜まで		全閉まで
4秒	3秒	※	2秒
	5秒		

※：スイッチをもう1度押し直す。



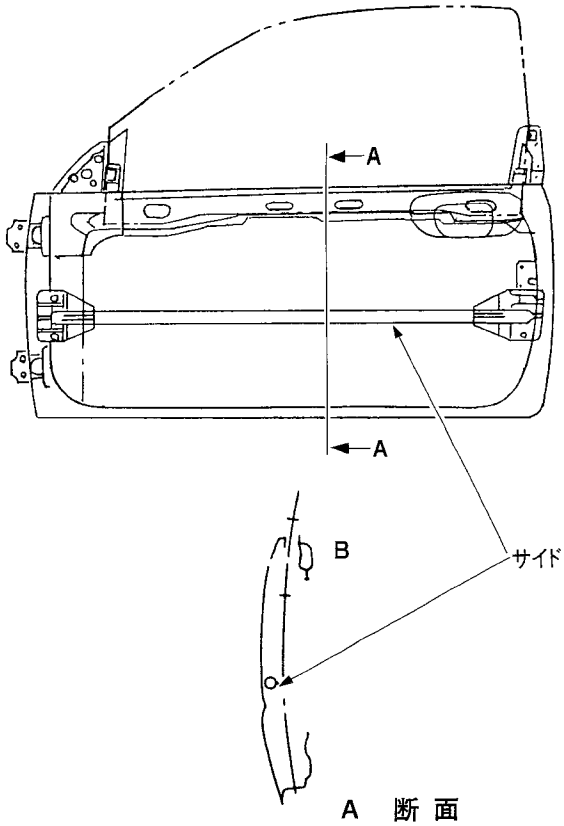
〈リヤウインドゥ概要図〉


約250
自動停止位置
リヤウインドゥ作動範囲
リヤウインドゥ
ヒンジ
格納状態
ヒンジブラケット
(車体に取付け)
リンク
リヤシートクッション
モータ
リヤシートバック
ギヤ
メインアーム
ピニオンギヤ

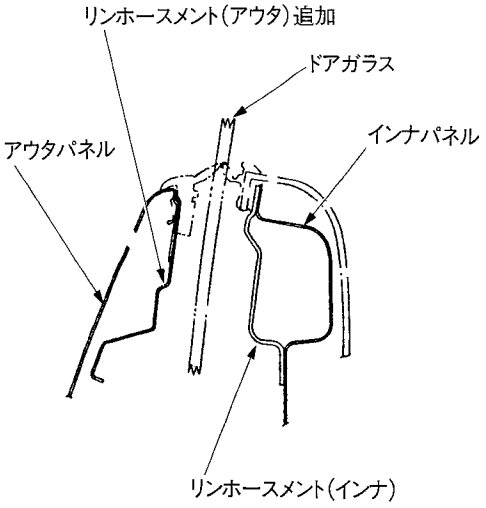
(3) サッシュレスドア

ドア内部に鋼管製のサイドドアビームを設け，サッシュレスドアを採用している。
（サイドドアビームはベース車と共用）
ドアはオープン化に伴い，スバル軽シリーズ初のサッシュレスドアを採用している。

• E－KY3型

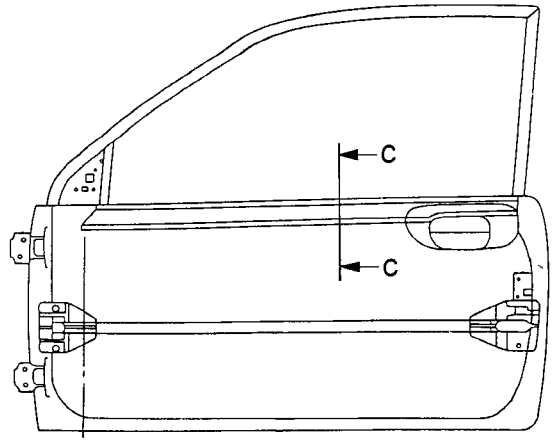


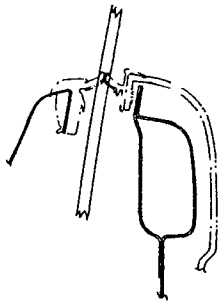
A　断面



B　詳細

• ベース車





C　断面

〔3〕 インテリアデザイン　(1) シートバリエーション

〈フロントシート〉

ベース車のヘッドレスト差し込み式スポーティシートに対して下記項目を変更した。

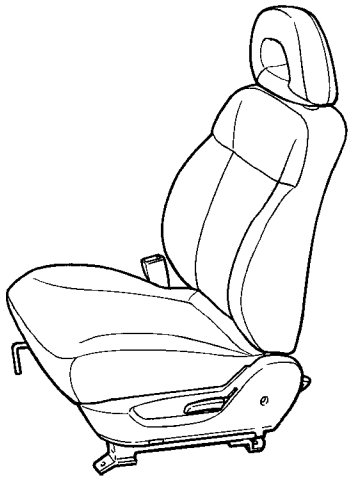
- 運転席，助手席共ドア側のスライドレールブラケットの形状を変更した。
- シート前後調整量をバン系と同じにした。

〈リヤシート〉

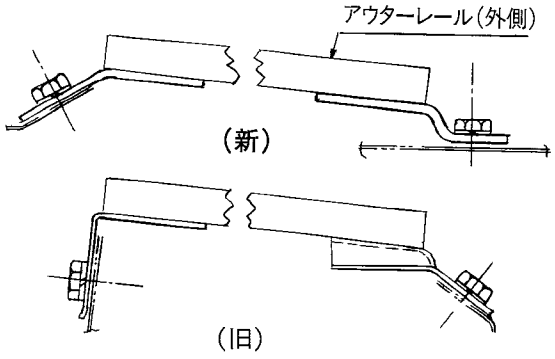
新らたなベンチシートを採用する。

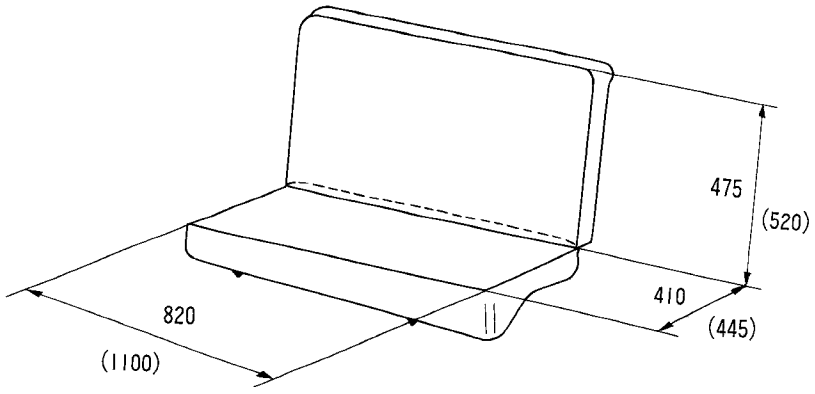
項目＼車種			E－KY3 2WD 5MT	E－KY3 2WD ECVT
フロントシート	形状	★：バケットタイプ	★	★
	スライド量	運転席	165 mm	
		助手席	120 mm	
	ヘッドレスト	●：上下調整式	●	●
	リクライニング		○	○
	運席シートリフタ		—	—
	ウォークインスライド(助手席)		—	—
リヤシート	形状	○：一体式	○	○
	ピロー		—	—
	リクライニング		—	—
※表皮材	●：ファブリック	フロント	●	●
		リヤ	●	●

※シート表皮はジャガード織りの質感の高いおしゃれ感覚溢れるものを開発しフロントシート背面及びリヤシートもクロス張りとした。(T－Top専用)



バスケットタイプのフロントシート

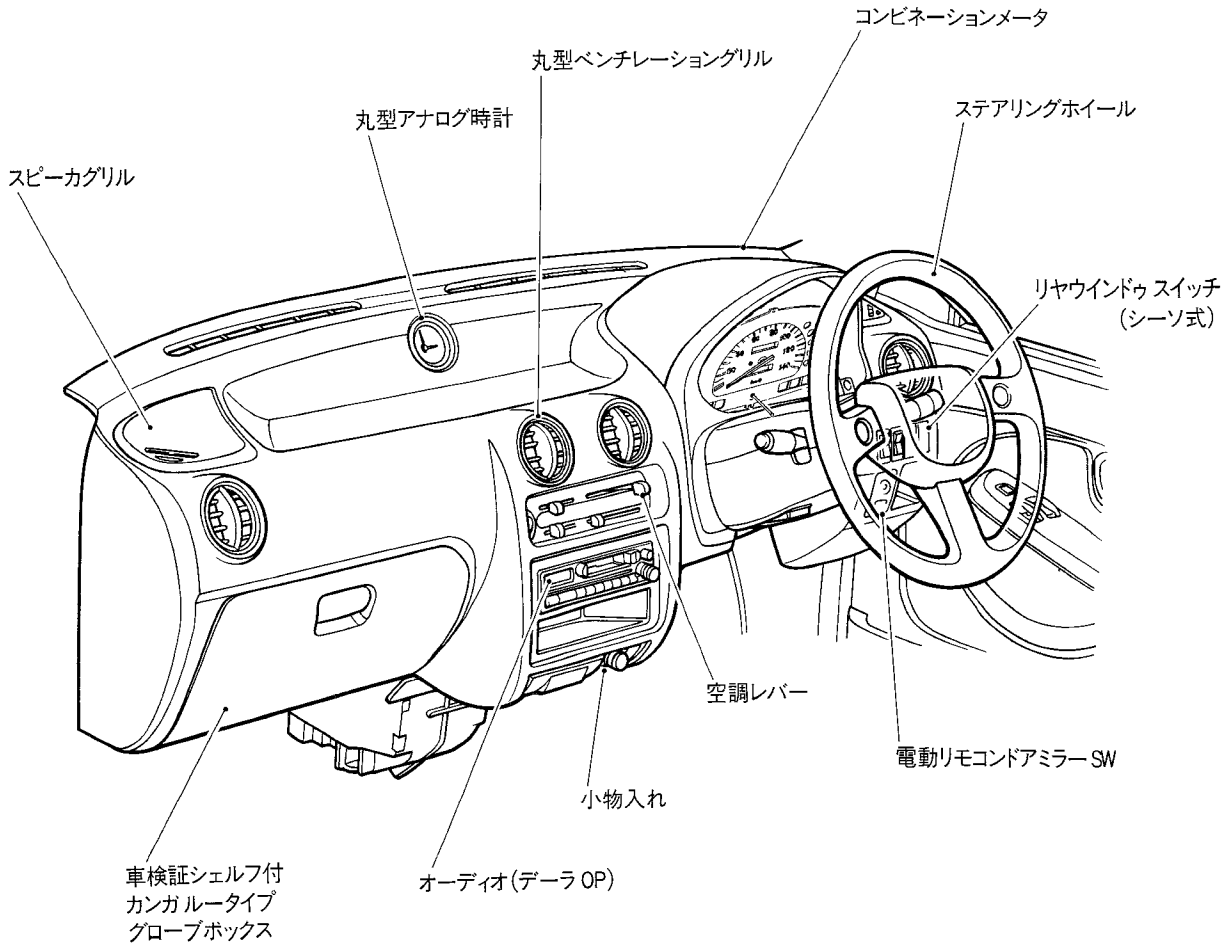




( ) 内はベース車の寸法を示す。

(2) インストルメントパネル

- ベース車のインストルメントパネルの計器盤右下にリヤウインドゥ スイッチ(シーソ式)を設けている。
- オーディオは全車とした。



MEMO